

# 鳥ボルナウイルス(ABV)遺伝子検査

2015年12月より鳥の腺胃拡張症(PDD: Proventricular dilation disease)の原因ウイルスである**鳥ボルナウイルス(ABV: Avian bornavirus)**の遺伝子検査を開始しましたので、ご案内いたします。是非、ご利用下さい。



## 腺胃拡張症(PDD)について

腺胃拡張症(PDD)は、中枢神経と末梢神経系の神経節へのリンパ球浸潤を伴う致死性の神経疾患です<sup>1)</sup>。消化管組織の平滑筋を支配する神経節が影響を受けやすく、腺胃や小腸の膨張と運動障害がしばしば認められます。多くのオウム類での発症が報告されていますが、非オウム鳥においても発症の報告があります。

感染実験により鳥ボルナウイルスが原因であることが明らかとなりましたが<sup>2)</sup>、症状の見られない個体からも検出されることがあり、解明されていないことが多い疾患です。

1) Rossi G, Crosta L, Pesaro S: Parrot proventricular dilation disease. Vet Rec 163: 310, 2008.

2) Gancz AY, Kistler AL, Greninger AL, Farnoushi Y, Mechani S, Perl S, Perl S, Berkowitz A, Perez N, Clubb S, DeRisi JL, Ganem D, Lublin A: Experimental induction of proventricular dilation disease in cockatiels (Nymphicus hollandicus) inoculated with brain homogenates containing avian bornavirus 4. Virol J 6: 100, 2009.

## 鳥ボルナウイルス(ABV)遺伝子検査



遺伝子検査では、検体中のABV遺伝子を検出します。PDDの確定診断に有用な検査となります。

### 1) 検体

糞便: 小豆大の糞便をスピッツ管などに入れて下さい。

論文では、様々な組織からウイルスの遺伝子が検出されているため、血液や羽毛が検体になる可能性があります。臨床研究でウイルスが検出された検体は糞便のみでした。

### 2) 検査費用

お問い合わせ下さい。



### 3) 報告

検体受け取り後、4~5営業日以内にご報告致します。報告書は郵送・メール・Faxの3種類からお選びいただけます(依頼書にて選択)。

### 4) 検体集荷

検体集荷は株式会社モノリスにお願いしております。モノリスに検体と依頼表をお渡し下さい。モノリスの集荷範囲外の病院様につきましては、お手数ですが弊社まで直接お送り下さい。

### 5) 結果報告

検査結果は「陽性」または「検出されず」で報告いたします。「検出されず」は検体中に病原体が存在しない、もしくは検出限界以下を意味します。

## 株式会社 ケーナインラボ 検査センター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目5-2 S-1ビル

電話: 03-5817-8130

FAX: 03-5817-8135

HP: [www.canine-lab.jp](http://www.canine-lab.jp) E-mail: [kensa@canine-lab.jp](mailto:kensa@canine-lab.jp)



### 検体集荷

## 株式会社 モノリス

〒182-0012

東京都調布市深大寺東町8-31-6

電話: 042-443-7200(代表)

042-443-6181/6183(集荷)

FAX: 042-443-6182